

令和 2 年度 2 学期終業式あいさつ

新型コロナウイルス感染症の拡大により、今年はこれまでに経験したことのないような対応を迫られました。長期にわたる臨時休業、分散登校、部活動の自粛、各種大会の中止など特に 3 年生は、かけがえのない最後の高校生活が感染症対策により大きく変えられたことに、悔しい思いをしたり、不安な日々を送ったりで、申し訳ない気持ちでいます。

しかし、この様な状況の中、2 学期は文化祭・体育祭、邇摩高フェアと大きな学校行事が続き、この学校行事に皆さんは、協力して、工夫しながら本当によく取り組んでくれたと感心しています。日程が限られ、熱中症対策も考慮しながら文化祭、体育祭をどのように実施するかという課題を、仁心祭として 2 日間で開催するように計画し、クラス発表も感染症拡大防止の観点から工夫し、見事に課題を解決して仁心祭を成功に導きました。

邇摩高フェアもそうです。感染症対策を講じながらどうやったらできるかを皆さんは考え、新たな企画も取り入れて実施し、成功に導きました。私たち大人は皆さんに対し、目の前の課題や問題から逃げずにその壁を乗り越えるようにいいます。2 学期に行われたこれらの大きな行事も、中止することは簡単です。しかし、目の前の課題をどうやったら実施できるかを考え、工夫することが、中止という選択をするよりも皆さんにとっては大きな力となるはずです。この大きな課題を解決し、前に進むということを皆さんは本当によくやってくれたと私は感じています。賞賛に値することです。

邇摩高フェアや仁心祭に訪れた多くの方から「生徒の皆さんが可愛い」といわれます。この「可愛い」という言葉は、単なる外見が「可愛い」ということではなく、最近の対象者（生徒の皆さん）の性格やお客さんとの対応などが敵意を抱く要素や威圧的な要素がなく、相手の心を和ませる美点を持つと判断された場合に使われるようになってきているとされています。「可愛い」という感情は対象者に接近して社会的な関係を持つとする気持ちとつながっているということです。要は、皆さんは『この人と一緒に仕事をしたい』という要素を持っているということです。

ぜひ大切にしてください。

明日から冬休みですが、この休み中もコロナ感染症対策を講じながらの生活になります。気を緩めることなく計画的に過ごしてください。

令和 3 年 1 月 8 日には元気に揃って新年を、新学期を迎えましょう。

クリスマス農業祭の様子

